

学報

2010.7.10 Vol.**125**

三蔵五訓

真理を探究し、道理を実践する。 豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。 生命を尊重し、自然を畏敬する。 個性を伸展し、紐帯性を培う。 未来を志向し、可能性に挑む。



松田新学長「あいさつ」と福山大学教育システム



松田文子新学長 あいさつ・・・・・・ 1
医療薬学教育センター(34号館)が完成・・・・・・・ 2
特集 卒業生の就職状況・・・・・・・・・・ 3
充実した就職支援······ 4
新入生合宿オリエンテーション・・・・・・ 5
拡がる教育・・・・・・ 7
研究活動・・・・・・・8
地域連携活動・・・・・・・・・・9
学内トピックス・・・・・・10
インフォメーション・・・・・・12
国際交流瓦版 ••••••13
学友会短信 • • • • • • • 13
学内人事 • • • • • • • • 14
財務状況・・・・・・14
平成23年度 入学試験の概要・・・・・・・・・・15



「こんにちは」。6月1日から学長 になった、松田文子です。よろしく。 私は歩くのが大好きで,東村の我 が家から大学にも歩いてきていま す。すれ違う人には、地元の人にも 学生の皆さんにも,出来るだけ「あ いさつ」をするようにしています。 学生からは、時々無視をされます が,元気よく「あいさつ」を返しても らったり,先に「あいさつ」をしても らうととてもうれしく,気持ちよく一 日が始まる予感がします。きっとそ れは私だけでなく、多くの人に共 通しているのではないでしょうか。 私たちは人間ですが、ヒトとして生 まれ人間として育つには、人間関 係が不可欠です。豊かな人間関係 が構築できるかどうかは,私たち が豊かな人生を送ることができる かどうかの,一つの重要なポイン トです。

ちょっと話を別なところへ向けます。近年,社会の物質的環境もシステムも,人々の意識も行動も,変化が激しくなっていますが,それでも大学の第一の使命は教育にあり,教育によって人を作ることにあるのは間違いないでしょう。福山大学は1975年の創立以来,宮地茂初代総長によって提示された

建学の精神

全人格陶冶を目指す全人教育 と

「あいさつ」と 福山大学教育システム

福山大学学長 松田 文子

教育理念(三蔵五訓) 真理を探究し,道理を実践する 豊かな品性を養い,不屈の魂を育てる 生命を尊重し,自然を畏敬する 個性を伸展し,紐帯性を培う 未来を指向し,可能性に挑む

を掲げて、教育を行ってきました。 この内容は、激動する現代にあっ ても、古びるどころかむしろ今日の 大学に求められている「学士力養 成を目指す学士課程教育」そのも のであるといえます。しかし、具体 的な教育の目標、そして目標達成 のためのシステムや手順となると、 不断の革新が必要です。

そこで牟田泰三前学長は、福山 大学新教育システムを提案され, その実現のために大学教育セン ターを平成21年4月に開設されま した。私も教育担当副学長として 関わりましたが、センターの働きは 昨年度はまだまだ試運転的でし た。しかし今年の4月以降、ようやく 学生の皆さんの目に触れる形で も、その姿を現してきたのではな いでしょうか(たとえば、1年次の英 語の学力別クラス編成とそのため の試験.1号館3階の学習支援・相 談室とオフィスアワー,1年次の必 修キャリア教育とノートブックな ど)。当面、この教育システムの中 味を充実させ,さらに深化発展さ せることが、私の最大の仕事です。

さて,この教育システムの中核

は,学生が,人間関係の輪を順次 広げながら,知識・技能・態度を総 合した実践的自己教育力を段階 的に身につけて,生涯にわたる学 びの基礎を手に入れるところにあ ります。学ぶためには意欲が必要 ですが、その意欲が、強い絆で結 ばれた人間関係の中から生まれる ことを期待しているのです。豊か な人間関係の中にあるとき、私た ちは生き生きとします。そうでない と,私たちは,居場所がないと感 じ、疎外感に悩まされます。大学で の人間関係は,学生と教師,学内 の仲間同十,地域の人々との結び つき、と輪が広がっていくように、 カリキュラムを作っていきます。学 生の皆さんが,人間関係を作りな がら,各学年での目標を達成して いく仕組みになっています。皆さ んがもしかして何気なく出かけて いる社会活動も、実はこのような 仕組みの一環であり、これからま すます充実していくはずです。

というわけで、話は最初に戻ります。人間関係の輪を作り、広げていくことが、学ぶこと、総合的人間力をつけることに、とても重要なのだということがおわかりいただけたと思います。では、その人間関係の輪づくりの第一歩は、何でしょう…「あいさつ」ですね。「あいさつ」から、あなたの未来が広がります。お互い、「あいさつ」は惜しみなく!!

今日はこれで「さようなら」。

福山大学医療薬学教育センター(34号館)が完成

福山大学薬学部は,日本で最初の「医 療薬学を柱とした実践的な医療薬学教 育」を教育理念とした薬学部として昭和 57年に開設されました。以来,この教育 理念の実現のため,新しい医療薬学教 育システムをパイオニア的に構築し,堅 実に実践してきました。①学部内にモデ ル薬局を設置、②4年次生(4年制)全員 に、モデル薬局で薬剤師としてのプレト レーニング実習を行い、それに引き続い て医療現場での病院(見学)実習を必修 科目として実施,③病院見学実習を行う 病院の全国的組織化などはその骨格を なすものでした。また、④大学院修士課 程を医療薬学専攻とし、大学院修士2年 次生(6年制薬学部の6年次に相当)に実 質5ヶ月間の病院研修を実現させまし た。これらの取り組みは、「福山大学方 式」として薬学部を持つ他大学や医療現 場から全国的に高い評価を受けてきま した。その証として、6年制医療薬学教育 のガイドラインとなるコアカリキュラムの 中に,本学が行ってきた医療薬学教育プ ログラムのほとんどが取り入れられてい ます。従って、福山大学薬学部は、日本に おける6年制薬学教育の礎を築いた薬 学部なのです。

このような実績と社会的評価のもとで6年制薬学部へ移行した本学薬学部において、今年2月に6年制医療薬学教育の中枢機能を持つ施設として、「福山大学医療薬学教育センター(34号館)」が完成しました。薬学部11号館に隣接する室内面積7,973m²の5階建施設の中には、4半世紀に渡り実践・蓄積してきた本学医療薬学教育のノウハウのすべてが取り入れられており、導入教育から始まる6年間の薬学教育を実施する附属施設として、全国の薬学部の中で最も充実した教育施設と言っても過言ではありません。

1階は、学生が集うロビーラウンジと、 附属図書館が設置されています。附属図



医療薬学教育センター(34号館)

書館には薬学を中心とした専門書,学術雑誌ならびに薬学共用試験対策資料,薬剤師国家試験対策資料などが所蔵されており,書籍や視聴覚資料の検索・閲覧,視聴など,落ち着いたゆったりした雰囲気の中で利用することが出来ます。

2階には最新AV音響機器(液晶プロ ジェクター, PC, DVD, 書写カメラ)を備え た2つの講義室(160名収容)と,研修室 (100名収容:パーティションで2室にす ることができる),6つのスモールグルー プディスカッション(SGD)室を併設した プレナリーセッション室が2セット用意さ れています。研修室では机・椅子を自由 にレイアウトすることが可能で、コミュニ ケーションやマナーなどの参加型授業な ど多目的に利用できます。また、プレナ リーセッション室は各グループがSGD室 でディスカッションする前後に集まり,共 通の課題にについて議論を深め共有化 していくスペースで、SGD室とスムーズに 連携できる設計になっています。薬学部 では、学生にコミュニケーション能力や 能動的学習姿勢を身につけさせるため、 1年次からPBL(Problem-Based Learning) チュートリアル教育を講義、演習、実習な どに積極的に導入しており、これらの施 設は薬学導入教育において十二分に活 用されています。



2階 プレナリーセッション室でのセミナー (後ろに見える部屋はSGD室)

3階には情報教育や調査、レポート作 成,発表原稿作成などに幅広く活用でき るマルチメディア室が2室(情報端末172 台)設置されています。コンピューター・ サーバーには一般的なソフトと共に,薬 学共用試験対応自己学習プログラム、国 家試験対応自己学習プログラム,教員作 成問題などが導入されており、4年次の 薬学共用試験CBT(Computer-Based Testing:薬学知識についての試験)なら びに.6年次の薬剤師国家試験に対する 学習サポート機能も持っています。薬学 共用試験センターが行うCBT本番試験も この施設を用いて実施されます。さらに3 階には自己学習室(36名収容)が4室用 意されており、多くの学生が自習に利用 しています。また、教員や先輩がチュー ターとなり学習支援を行う学習支援室2 室(36名収容)を設置し,勉強に不安がある学生をサポートする体制を整えています。



3階 マルチメディア室でのCBT演習

4階.5階は3年次の医療系実習.4年 次の事前学習(実務実習前のプレトレー ニング)と薬学共用試験OSCE(Objective Structured Clinical Examination: 客観 的臨床能力試験)に対応した施設です。4 階には調剤実習室2室,製剤実習室1室, 医薬品情報室1室,総合演習室1室,模 擬病棟6室が、5階にはクリーンルーム2 室, TDM解析室1室, 医療薬学演習室2 室, OSCE演習室6室が配置され, 各室に は最新の調剤関連機器が導入されてい ます。これらの施設を利用して、患者・来 局者対応(薬局での患者応対,病棟での 初回面談など),薬剤の調製(計量調剤 (散剤・水剤),計量調剤(軟膏剤),計数 調剤)),調剤薬鑑査,無菌操作の実践(手 洗い,注射剤混合),情報の提供(薬局で の薬剤交付,病棟での服薬指導,疑義照 会)など、すべての薬剤師業務を実習、模 擬体験することができます。薬学共用試 験のうち、OSCEもこの施設を用いて実施 されますが、どのような課題が提示され ても対応できる施設となっています。



4階 調剤実習室での調剤実習

福山大学薬学部は、本施設を最大限に活用し、医療の現場から今まで以上に信頼される薬剤師を養成することを目指して6年制薬学教育を実践していきます。今後とも本学部の医療薬学教育に対して、ご指導・ご鞭撻を頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

薬学部 教授 塩見 浩人

平成21年度就職状況について

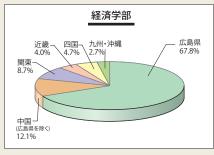
今春の卒業生の就職状況は、21 年度末時点で約10人に1人が未内 定であったという極めて厳しい結果 でした。これは全国的な状況でもあ りますが、一昨年の世界金融危機は 製造業を中心として地方を直撃し、 特に多種多様な製造業の集積率が 高い地元の企業は採用枠を減らし ました。21年度内に本学が受付けた 求人社数は、20年度比で約3割減と いう現実の中にあって学生は苦戦 を強いられました。 しかし、学部・学科に限らず複数 社から内定を得た学生も多く、それ らの学生は総じて早い段階から就 職活動の計画を立て、自己の専門分 野を広い視野から見直して業界研 究を行い、企業訪問やOB・OG訪問 等に積極的に取り組んでいました。

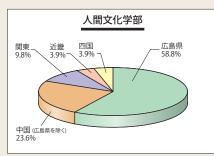
政府発表によると、平成22年1~3月期の実質GDP成長率は年率5%に迫るなど、景気は上振れ気味に推移していると言われていますが、中央と地方との格差は埋まらず、厳し

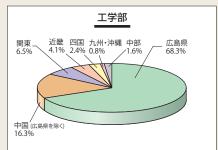
い雇用環境は継続しており、現4年 生も昨年度にも増して苦戦していま す。就職課も企業訪問数を例年の倍 以上実施し、新卒採用枠の拡大をお 願いしたり、臨時の合同企業説明会 を開いたりして、就職支援を強化し ています。

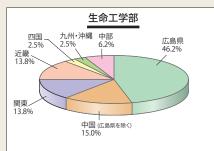
21年度卒業生の各学部の地域別, 業種別(大学院等の進学を含む)の 進路状況は下の通りです。

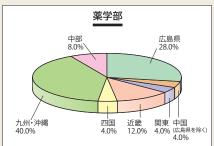
平成21年度 地域別進路状況

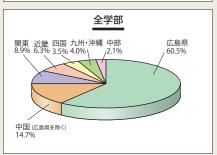




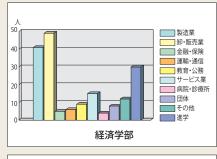


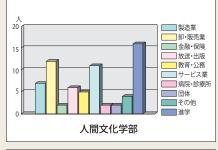


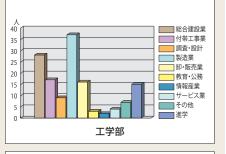


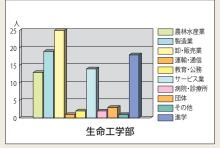


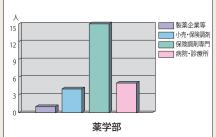
平成21年度 業種別進路状況

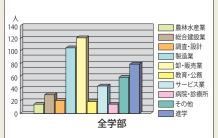












実践力を高める就職支援の取組み

福山大学では、学生一人ひとりが一般教育ならびに専門教育において修得した知見と、全学部で4年間にわたって計画的に展開するキャリア教育とを結びつけ、自己の進路を主体的に切り開いていく力の獲得に資するきめ細かな支援を、担任、ゼミ担当者、就職委員の先生方、就職課職員が中心となって精力的に展開しています。

特に平成22年度は、学外の専門講師によるセミナーを充実させたり、内定状況を踏まえたタイムリーな合同企業説明会を実施したり、貸切りバス利用による都市部での合同企業説明会への参加を企画する等、新たな取組みも積極的に展開しています。

次に示すのは主に3年次の支援内容です。

1. 就職ガイダンス

- 第1回就職ガイダンス 5月
 - ①職業選択の意義,自己理解と仕事理解
 - ②就職試験対策の基本
- 第2回就職ガイダンス 5~6月 「一般常識テスト」の実施と自己の 基礎知識・能力の把握
- <Web登録> 6月 就職サイトの活用方法の指導
- 第3回就職ガイダンス 7月
 - フォローアップ講座(学外講師による指導)
 - ①一般常識テスト結果の生かし方
- ②採用試験の評価の観点や基準について 第4回就職ガイダンス 9月
- ①進路希望票の作成について
- ②業界研究,企業選択の進め方について
- ③企業の採用活動に合わせた就職活動について
- 第5回就職ガイダンス 10月 SPI適性検査の実施
 - ①自己の能力や適性の客観的把握
- ②採用試験頻出問題とその対策
- 第6回就職ガイダンス 11月 フォローアップ講座(外部講師による指導)

- ①SPI適性検査結果の生かし方について
- ②自己PR·志望動機について
- 第7回就職ガイダンス 11月
- ①就職活動のポイント ②就職活動のための基本的なルール
- 第8回就職ガイダンス 11月・12月 学部・学科による「就職活動体験発表会」

2. 就職対策講座

- (1)新聞の活用講座 10月
- (2)小論文等文章作成講座 11月
- (3)履歴書・エントリーシートの書き方講座 11月~1月
- (4)就職面接講座(学外講師による指導)

3. 保証人との就職懇談会

経済学部·人間文化学部 11月 工学部·生命工学部 12月

4. 学内合同企業説明会

2月・3月・10月

県内外の優良企業を招き,企業説明会を実施 (昨年度は2月17日,19日,3月5日に 実施 参加企業177社)

5. 単独企業説明会

4年次の4月以降,希望する学生を対象に 個別の企業説明会を実施し早期内定を支援

採用内定者のコメント



経済学科 4年 村上 由希子 内定先 株式会社 広島銀行

私は就職活動を3年の10月頃から始め、まず"就活"の全体的な流れを調べました。10月~11月には筆記対策を完璧にし、12月には企業研究と自己分析を開

始し、1月にはそれと平行して面接対策を行う、という風に全体の予定を立て、ほぼそのとおりに実行してきました。

学校での模擬面接はとてもタメになりました。本番では緊張しながらも礼儀,言葉使い,話し方には特に気をつけました。 実際の面接では自分のことを知らないと質問に答えられないので,自己分析の大切さを改めて実感しました。自己分析は 選考のためだけにするものではなく、むしろ5年後、10年後の社会人生活を見据えて行うべきものだと思います。また、日頃から敬語を使って人と話す訓練を積んでおくことが大切です。"就活"は先が見えず、常に不安にかられますが、「必ず自分に合う企業に出会える!」という前向きな気持ちを持ち続け、周囲の人への感謝の気持ちも忘れずに頑張って下さい。



機械システム工学科 4年 田**邊 裕貴** 内定先 JFEスチール株式会社

私が就職活動を始めたのは3年の12 月からであり、少し遅めのスタートでした。最初はリクナビ、マイナビから企業エントリーを始め、合同企業説明会へ参加し、その過程で関心のある企業について積極的に研究しました。企 業研究については、その企業の事業や 業務内容を研究するだけでなく、業界 についても理解し、企業がどのような 人材を求めているかを知ることが重要 です。

いくつかの企業を受けて分かったことは、採用試験において一番重視されているのは面接だということです。面接ではいかに自分をアピールし、熱意を伝えることができるかがポイントです。初めのうちは緊張してうまく喋れなかったり、企業によっては変わった

質問をされたりするので、就職課の受験報告書を参考にして予習し、イメージトレーニングをして友達や先生と面接練習をすると良いでしょう。

就職活動は辛いというイメージがありますが、活動している過程で自分に社会人としての力が身に付いていくのが実感できるので、内定を得られないからといって落ち込まずに、すぐに次のステップに移り、楽しみながら就職活動をすることが大切です。

キャリア形成支援センター

― キャリア形成支援センターを活用しよう―

福山大学では、学生の皆さんの就職 支援を行うために、今年度よりキャリア 形成支援センターが設立されました。 キャリア形成支援センターは、学生一人 ひとりが「自分らしい生き方」を探り、社 会の動向を踏まえた確かな構想と展望 のもとに、生涯にわたって有意義な職業 生活を送ることを目指したさまざまな支 援を行っています。

センターでは,就職活動と就職してか

らの職業生活に必要な基礎力(就活力)を養成するためのキャリア教育プログラムを実施しており、今年度からは新たにBINGOチャレンジインターンシップを開始するなど、多様な就業体験プログラムも用意しています。また、就職活動が具体化する3年次を中心に、就職ガイダンスや各種セミナーの実施、就職懇談会や合同企業説明会の開催など、学生の皆さんの就職活動を支援するための就

職支援プログラムを用意しています。

現在、学生諸君を取り巻く就職環境は 非常に厳しいものになっています。普段 の講義はもちろんですが、キャリア形成 支援センターで提供するキャリア教育プログラムやさまざまな催しに積極的に取 組み、将来のための力をしっかりと蓄え ていただきたいと思います。

キャリア形成支援センター長 西原 晃

新入生合宿オリエンテーション

経済学部の合宿オリエンテーション

私たち経済学部は,4月8日(木),9日(金)みろくの里へ行きました。スケジュールは17時に福山大学を出発し,翌



朝8時半に帰る大変きつい日程でした。 私は食事が済んで部屋に帰り、同部屋の 何人かと話を交わすうちに次第に打ち 解け、大学ではどんなことがしたい、どん なクラブに入りたいなどと話が弾みまし た。十分な時間ではなかったが、交友を 深めるには良い体験でした。

しかし合宿オリエンテーションとはいえ,内容的には食事・宿泊だけで大方の学生は,何だったのかと感じたのではないですか。福山大学は近くの高校から入

学しているものが多いが、中国・四国地方などからもたくさん来ています。むしろそんな学生にとっては交友を深める一番良いチャンスではないでしょうか。

全体的に時間が少なかったし,折角だからソフトなどみんながふれあう何かをすればもっと効果を高めることが出来たと思います。お世話になった先生,学生リーダーのみなさん有難うございました。

経済学部 1年 松岡 尚寛

友達づくりにつながった

緊張しながら入学してすぐに合宿オリエンテーションがありました。高校のときの友達だけが頼りで、他に友達ができるのかものすごく不安でした。しかし、合宿のときに行った1チーム6人で時間を決めて話をするというゲームで、たくさんの人と話ができて気持ちが楽になりました。自分の好きなことや特技、趣味について話しました。また、みんなのこともいろいろ知ることができて楽しかったです。はじめはなかなか話せなかったけど、時間が経つにつれてあちこちから笑い声が聞こえてきてみんな楽しそうにしていました。このゲームを境に徐々にみんなと話をすることができました。

そのあとは、体育館に移動して学部全 員でゲームをしました。十数人で輪に なって、一人が名前と特技を言って、次の人は前の人が言った言葉と自分のことを言います。このゲームは、後になればなるほど辛いです。でも、そこで助けあったりして楽しくできました。みんなが何回も名前を言うので短期間でみんなの名前と顔を覚えることができました。このゲームがなかったら、なかなか覚えられていないかもしれません。ゲームのおかげで、自由





時間や食事のときに少しずつ話しかけていけました。そうすることで、だんだんと 友達が増えていきました。

合宿に行く前は、めんどうくさいなとか、 だるいなとか思っていたけど、終わって みれば楽しい思い出ばかりです。合宿が あってよかったし、行ってよかったと今で は思います。

メディア情報文化学科 1年 新舍 知美

慣れない雰囲気に戸惑いながら

慣れない雰囲気に戸惑いながら、私たちはいんのしまロッジで行われる新入生合宿オリエンテーションに向かいました。そこで行ったものの中で特に印象的だったのが、3人一組でのロボット製作。説明書に沿って作っていくのですが、この説明書…あえてカラープリントされていません。似たような形のパーツがたくさんあるので、必然と自分からコミュニケーションをとって正しいパーツを選ぶ必要がありました。そこが高校までとは違った経験で、大学特有の自発的に動くということの大切な心構えを学べたのだと思います。ロボットを無事に作り終えた



後は、不思議とそれまで感じていたものを感じることもなくなりました。もしかしたらその経験が、そうさせてくれたのかもしれません。そういった意味でも、オリ



3人一組でのロボット製作

エンテーションがあって良かったと思います

電子・ロボット工学科 1年 大藤 康博

未来へ向かって, Go Go 海洋!!

私たち海洋生物科学科の新入生91名 は、遂に始まった大学生活への期待と不 安の両方を抱えながら、新入生合宿オリ エンテーションへと向かいました。

その夜から、先生と先輩を交えたバレーボール大会が開かれ、ついさっきまで硬かった表情が試合をするごとに和ら



いでゆき,自然と声をかけ合ったり,笑顔 でハイタッチをしたりと,いつの間にか 男女共に打ち解け合うことができました。

バレーボール大会が終わった後,同じ 部屋の学生たちと語り合い,出逢って数 日とは思えないくらい仲が良くなり,これ からの大学生活がとても楽しくなりそう





だと期待に胸を膨らませました。

海洋生物科学科という日本全国から みても珍しく特殊な学科に入学した91 名もの仲間たちと、これからの4年間を 後悔しないように精一杯がんばって過ご して行きたいです。

海洋生物科学科1年生 押谷 彩乃

「明るい表情になれました!」

私たち薬学部の学生がお世話になった岡山県玉野市の玉野スポーツセンターはとても自然が豊かで、周囲は山に囲まれ近くには川が流れ、ゆったりとした空気感の感じられる施設でした。

入所式直後のスポーツアワーでは、約 一時間サッカーやバドミントンなどのスポーツをしました。お互い面識のない者同士で最初は緊張しましたが、夢中になって一緒にスポーツを楽しんでいるうちに仲良くなり、次に会ったときに話しかけるきっかけを得ることができました。

また, 夕方からのクラス別セミナーで は自己紹介やゲームをしました。ゲーム は、お互いに言葉を交わさず、与えられた題に従って一人一文字ずつ順番に文字を書き物語を完成させるというものでした。前の人の気持ちを汲み取って後の人に繋げることが大切なのですが意外と難しく、各チームとも大脱線、とてもユニークな物語が完成して大いに盛り上がりました。



クラス別セミナーでの創作物語の発表



玉野スポーツセンター入所式

合宿前と後で私たちが一番変化した のは表情だったと思います。合宿があっ たことで緊張が解け、翌日からの授業も 明るくすっきりとした表情で迎えること ができたのでとても感謝しています。

薬学科 古谷 幸子













拡がる教育

BINGOチャレンジインターンシップ

就職や将来の社会生活に必要なキャリア教育は重要であり、本学では1年生で必修科目キャリアデザイン I を、さらに2年生でもキャリア教育に関する授業を開講しています。一方、国内では新卒就職者の3割が3年以内に離職するなど、離職率の高いことが大きな社会問題となっています。キャリア教育の一環であるインターンシップは「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」を示しており、インターンシップへの参加は、専攻している分野の仕事を体験できるだけでなく、コミュニケーション能力や社会性などを身につけるためにも極めて重要です。

従来から、インターンシップには力を入れておりましたが、今年度から備後地域の企業の協力によるインターンシップ、「BINGOチャレンジインターンシップ」を始めました。まず、新学期のオリエンテーションで2、3年生に、インターンシップの意義とBINGOチャレンジインターンシップを学生に理解してもらうために説明会

を開催しました。

BINGOチャレンジインターンシップの大きな特徴は、学生の就職先でもある地元企業で実習ができることです。インターンシップにおいて27社の地元企業の協力が得られました。

さらに大きな特徴は、インターンシップにおいても、就職と同じような企業説明会を企業の協力により、学内の大学会館で実施したことにあります。20社の企業が説明会に参加し、400名を越える2、3年生が企業説明会に出席しました。各企業の説明が個別のブースで行われ、まるで大手の就職の合同企業説明会のような熱気に溢れていました。





説明を受ける学生たち



説明会の受付に並ぶ学生たち



説明会の開始を待つ学生たち

企業の事業内容やインターンシップ の実習内容が、学生の関心の的でありま したが、企業の方々の熱意ある説明の中 で、学生はインターンシップのみならず 就職、社会人としてのあり方などについ ても多くのことを学んだ様子でした。学 生からは出席して非常に良かったという 多くの意見に加えて、感動したという報 告もありました。

その後,約60名の学生がインターンシップで実習を行いたい企業に応募しました。企業の受入学生数には限りがありますので,6月下旬から応募した学生に対する選考が企業ごとに行われます。インターンシップの受入が決まった学生は、夏期休業中に各企業へ実習に行くことになります。この度の実習が終わる頃、学生は社会人への一歩を踏み出すものと確信しています。

キャリア形成支援センター

栗延 俊太郎

「広島大学と福山大学との大学間交流に関する包括協定」に調印

福山大学は5月27日に,学長,理事長 等関係者が出席し,広島大学との大学 間交流協定に調印しました。

本協定は、教育・研究活動の包括的な 交流と連携・協力の推進によって両大学 の教育・研究の一層の進展に資すること を目的とするもので、具体的には以下の 事項について連携・協力を推進すること としています。

- ① 共同の研究プロジェクト
- ② 教職員の交流

- ③ 学生の交流
- ④ 施設の利用

今後は,本協定に基づく個別協定を



学部・研究科等で締結し、本協定が実行性あるものになるよう努めていきます。



機能材料研究室の取り組み

機械システム工学科

機械システム工学科機能材料研究室 では,主に機械に使用される金属材料 の高性能化に関する研究を行っていま す。ここでの「高性能化」とは、強さや加 工性といった種々の材料特性を向上さ せることを言います。

さて,本研究室で行っている研究テー マは2つあり、1つはチタン合金の高性 能化,もう一つは耐震用新材料の開発で すが、今回は特に前者について紹介しま す。チタンを含めた金属材料の高性能 化の代表的手法として,合金化がありま す。最近では合金元素の添加量を多くし た高合金や希少金属の添加による高性 能化が見受けられます。しかし、日本に は鉱物資源はほとんど無く,多くは輸入 に頼っているのが現状です。

今後,他国での鉱物資源の多量消費 が見込まれており、資源の輸入自体が滞 る可能性が出てきています。そうなると、 多くの金属材料(特に合金)の価格の高 騰や,合金の製造自体が困難な状況に 陥ることが懸念されます。よって、希少資 源を極力使用しないで,かつ安定入手 が可能な元素を用いて金属材料の高性

能化を達成する技術の確立が急務と なってきました。

そこで始まったのが文部科学省実施 事業「元素戦略プロジェクト」です。本研 究室は他大学やアドバイザー企業と共 に「サブナノ格子物質中における水素が 誘起する新機能」というテーマを立ち上 げ、現在はその中のサブテーマリーダー として、水素を使ったチタン合金の高性 能化,とりわけ強度と加工性向上に関す る研究を行っています。

水素は地球上に無尽蔵に存在してい るので、資源枯渇の心配はまずありませ ん。また、合金元素の添加は一切なくチ タン合金の性能向上が大幅に図れるの で, 高合金化は必要なく, 鉱物資源の節 約にもつながります。水素を上手く使え ば室温での強度は大幅に向上し、そして ある温度に加熱することで水飴のように よく伸びる現象が出てきます。

チタン合金は塑性加工に難点がある のですが、この現象を上手く利用すれば、 複雑な形状をした部品の製造が可能に なります。使うときは強く、そして加工は 簡単…そのような特性を持つチタン合

金が可能となるのです。

さて、今後の展開ですが、チタン合金 には原子の並び方によってさまざまなタ イプ(専門的には α 型, α + β 型, β 型… と言います)があり、どのタイプに水素が 有効か?とか,最適な成分系は?他に金 属にこの手法は使えないのか?など,不 明な点も多くあります。このプロジェクト を通じて少しでもそのあたりが明らかに なればと思っています。

機械システム工学科 講師 中東 潤



実験風景(装置:チタン合金への水素の吸蔵及び 排出を行う水素処理炉)

平成22年度科学研究費補助金

★研究種目

◎研究代表者氏名 所属 職名 研究題目(交付金額)

★基盤研究C

◎梅田 真三郎 工学部 教授 菱形角柱群流路からの新しい混相噴流現 象の可視化に関する基礎的研究

(180万円)

◎渕上 倫子 生命工学部 教授 加熱・高圧・乾燥処理による野菜・果実の 物性変化とペクチン質の関係

(110万円)

- ◎香川 直己 工学部 教授 アイセーフレーザを光源とする空間光通 信網を利用した温室効果ガス計測システ ムの開発 (110万円)
- ◎木村 純壮 工学部 准教授 複数通信遅れを考慮する遠隔協調操作と 予測制御の研究 (130万円)
- ◎井上 達雄 構造・材料開発研究セン ター 客員教授

統合型変態・熱塑性構成式の一般化と材 料パラメーターの同定および変態・熱・力 学解析 (80万円)

- ◎日下部 典子 人間文化学部 講師 広島県における幼児の母親を対象とした うつ予防プログラムの実施と効果の検証 (70万円)
- ◎久保 卓哉 人間文化学部 教授 魯迅をめぐる日本人―新資料の発掘―に 関する研究 (80万円)
- ◎田中 久男 人間文化学部 教授 アメリカ文学における人種と地域から見た 階級表象の領域横断的研究 (70万円)
- ◎大川 秀郎 生命工学部 教授 残留性有機汚染物質の監視と汚染浄化に おけるバイオサーファクタントの利用 (140万円)
- ◎日比野 俐 薬学部 教授 MW照射下電子環状反応による生理活性 ベンゾフェナンスリジン類の新規合成法の (130万円)
- ◎岩本 博行 生命工学部 教授 デンプン糖化工程の効率化をめざした枝

切り酵素の構造機能解析と機能改変

(90万円)

- ◎福長 将仁 薬学部 教授 ミトコンドリアゲノム解析によるダニ類の 系統と進化の解明 (130万円)
- ◎平 伸二 人間文化学部 教授 P300による虚偽検出の実務導入に向け た諸問題の検討 (80万円)

★若手研究B

◎広岡 和丈 生命工学部 准教授 枯草菌における植物由来芳香族化合物に 応答した複合的遺伝子発現制御の解析

(100万円)

- ◎橋本 優花里 人間文化学部 准教授 神経心理学と臨床心理学に基づいた配信 型認知リハビリテーション環境の展開と拡 充 (140万円)
- ◎村上 泰子 生命工学部 講師 C型慢性肝疾患の亜鉛および多価不飽和 脂肪酸による病態進展抑制効果に関する 研究 (90万円)

地域連携活動

2010 府中産業メッセ

府中産業メッセ2010でロボット制作教室と体組成チェック

平成22年5月22日(土),23日(日)に開 催された「府中産業メッセ2010」(主催:府 中商工会議所,場所:府中市立総合体育 館(ウッドアリーナ))において,福山大学 は, 府中商工会議所の要請を受けて後援 するとともに、電子・ロボット工学科と生命 栄養科学科が、それぞれ「ロボット体験教 室」と「"えいよう"と"からだ"を知ろう」と題 して,来場者参加型の展示を行った。福山 大学全体としては,社会連携センターが大 学の航空写真と組織,入試行事のポス ターの展示,および紀要,年報,報告書,大 学要覧の配布を行った。また,機械システ ム工学科の電気自動車が, 府中 E V (電気 自動車)レース実行委員会の招請を受け て並んで展示され、小林、前濵ら教員が協 力した。さらに、イベントステージでは、電 子・ロボット工学科によるロボットの実演と



ロボット制作教室の紹介や福山大学三蔵 太鼓の公演が行われた。

「ロボット体験教室」(電子・ロボット工学 科)では、①研究用ロボットの実演展示 と、②手動発電機と振動モーターを利用 した動くおもちゃの制作教室を催した。① 実演展示には,年配者から小学生以下ま で幅広い人が絶えず訪問し,15体以上の 自作,他作のさまざまなロボットにさわった り,操作したりすることで楽しんでおられ た。また、②制作教室は、小学生の手で1 時間弱の行程と、500円の自己負担を要す るものであったが、岡山龍谷高校の学生7 名(社会連携事業PJ8-2)をはじめ,初日21 組,2日目20組と,制作の机は常に埋まっ ていた。おかげで、香川、沖、田中、脇坂ら 教員と交代で常時7名の協力学生は、休む 間もなく充実した時間を過ごした。

「"えいよう"と"からだ"を知ろう」(生命栄養科学科)では、①体組成(水分と身体部位に別けた筋肉、脂肪量など)の測定、②体脂肪1kgの模型と相当する食事モデルとそれを消費するための運動の例の展示、③みそ汁の塩分量を当てるクイズを行った。また、20名の方には、金光味噌(株)提供の味噌を差し上げた。訪問者は、500名

程度,特に体組成測定への参加者は,健康を志向する年配の方であふれ,延べ300名の方が,ひっきりなしに測定を続けた。おかげで,学科のほぼ全員の教員と常時2,3名の協力学生は,測定と結果の説明に追われた。さらに,順番待ちの人の席を作るために大学全体の展示の場所まで侵食してしまった。

2日目は、あいにくの大雨であったが、産業メッセへの2日間の来場者は、約30,000人と盛況であった。なかでも福山大学関係の展示は、「ものづくり」と「健康づくり」の観点から訪問者がひっきりなしに押し寄せ、報道にも取り上げられ、主催者から感謝された。

生命栄養科学科 教授 山本 英二



平成22年度 食と健康のライフサイエンス (5回シリーズ)始まる

市民フォーラム"平成22年度 食と健康の ライフサイエンス"の第1回が,6月19日(土), 福山大学社会連携研究推進センター(宮地 茂記念館)で行われました。生命工学部と社 会連携センターが主催です。運営を担当して いる生命栄養科学科が,食品工学科,応用生 物科学科を前身として,生命系として特徴の ある管理栄養士の養成課程として誕生して3 年目。福山市保健所や教育委員会,栄養士会 など関係機関と協力しながら食を通じて健康 な生活を維持,向上させるための情報を継続 的に地域の方々に発信することを目的とし て,学科誕生の年に始めたこの市民フォーラ ムもようやく地域の皆さんに定着してきまし た。おかげさまで、今年度第2回の食の実験・ 実習は、定員が少ないこともありますが、すで に満席でキャンセル待ちになってしまいまし た。申し訳ありません。他の回もお早めにご予 約ください。また、今年は学生スタッフの活躍 にもご注目ください。

+++++ **昨年平成21年度結果** +++++ 第1回 6月20日(土)

【食の安全と安心】

- ①「福山市の学校給食における食物アレルギーの対応」福山市教育委員会 学校保健課 管理栄養士 児玉 智恵子
- ②「食品の表示見てますか」 (倉掛 昌裕) 第2回 8月8日 (土)

【食品の調理と物性】

①「調理のコツと科学」 (渕上 倫子) ②「味の秘訣は結晶化」 (山本 英二)

第3回 10月3日(土)

【食育】

①「地域で支える食育運動」福山市食生活改善推進連絡協議会 会長 信森 雅子 ②「スポーツ選手に対する栄養指導」

(石﨑 由美子)

第4回 11月28日 (土)

【がん予防と食品】

①「発がん性物質と食品」 (菊田 安至) ②「がん予防と食生活」 (木村 安美)

+++++ **平成22年度予定** +++++ 第1回6月19日(土)

【ライフサイエンス】

①「ライフサイエンスで食の安全をまもる 一食のリスク分析学ー」(菊田 安至)

②「なぜ食と科学は相性が悪いのか? -多様性と普遍性のはざまに-」

(岩本 博行) 第2回7月24日(土)

【食の実験・実習】

①「食事バランスチェックと健康料理のご紹介」 (木村 安美,平松 智子) 生命栄養科学科 教授 山本 英二

②「チョコレートの口どけを変えてみましょう」 (山本 英二)

第3回8月21日(土)

【食の安全と安心】

①「最近の食中毒と予防の取り組み」 福山市保健所 生活衛生課 瀬尾 豊記 ②「食品表示と添加物」(倉掛 昌裕) 第4回11月27日(土)

【食育】

①「生きる力を育む"お弁当の日"」 神辺中学校 養護教諭 松田 陽子

②「スポーツ選手の栄養管理 (石崎 由美子) 第5回1月22日(土)

【機能性食品】

①「生活習慣病と特定保健用食品」 日本食品保健指導士会副会長・ 神戸薬科大学エクステンションセンター 池田 千恵子

②「5回シリーズの修了式」

学、内、T、O、P、I、C、S

福山ばら祭りに出展

福山大学は、毎年ばら祭りに協賛してきましたが、今年は、企画協賛に参加し、中央公園広場での「子育て応援ブース」に出展しました。人間文化学科卒業生がばら祭り実行本部に関わっていましたので、人間文化学科を中心に取り組むことになりました。出展が決まったのが3月ということもあり、予算をかけずに、しかも子供たちが楽しく遊べる企画を考えようということで、段ボールをリサイクルした手作りおもちゃで、ゲームランドを作るという企画を考えました。

心理学科の「子育てステーション」でも毎週行っている「Saturday パパ」というお父さんと子供の遊びを支援する行事で,5月は段ボールハウスを作ることになっている

福山大学キッズランド 段ボールで遊ぼう☆

ということで、両学科でこれに取り組むこと になりました。

結局,人間文化学科では,ジグソーパズル,的入れ,輪投げ,迷路づくり,ミニ空気砲の5つのゲームを並べました。その前に置いた段ボールハウスで,心理学科が子供たちを迎えました。人間文化学科の学生が1~3年まで,延べ20名あまり,心理学科の学生が5名あまり参加しました。このゲームランドに,2日間で延べ800名以上の子供が訪れました。子供たちの,手作りおもちゃへの熱中ぶりは大変なもので,何度も来て,同じゲームに挑戦する子もおり、学生たちも対応に追われました。熱い日差しが降り注ぐ2日間,子供たちとのコミュニ

ケーションに心を注ぎ、学生たちも充足感 を感じたようです。

遊びという文化が, 異世代のコミュニケーションを開くという可能性を感じた2日間でした。

人間文化学科 教授 青木 美保



人間文化学部コンサート開催!

人間文化学部では、昨年度「さつきコンサート」として5月に開催したイベントを引き継ぎ、今年度は6月に「人間文化学部コンサート」を開催しました。コンサート当日の6月5日(土)には、本学1号館大講義室に、お子様連れのご家族からご年配の方々まで幅広い年代の聴衆70名以上が訪れました。

第一部のコンサートでは、先ず銀河学院 高校箏曲部の皆さんがゲスト出演され、荘 重な琴の音色を披露してくれました。また、 本学の管弦楽団・吹奏楽部の皆さんも、日 頃の練習の成果を発揮し、爽快な音楽でコ ンサートを盛り上げてくれました。映画『千 と千尋の神隠し』や『崖の上のポニョ』の主 題歌なども演奏され、聞き慣れた旋律に聴 衆も耳をすませました。

第二部の学生発表では、先ずサブカル チャークラブの学生たちが、「私の愛するウルトラマン―セブンとゼアス―」と題して、



ウルトラマンへの愛が詰まった発表を行ってくれました。次にメディア情報文化学科の学生たちが、公共広告機構のCMコンテストに出品した作品、受賞作品を、丁寧な解説付きで上映してくれました。いつもより格段りりしく見える学生たちの発表に、聴衆も興味深く聞き入りました。また、人間文化学部の各学科紹介や、本学美術部の作品も同時に展示されました。

今回のコンサートは、多くの皆さんのご 尽力によって、無事盛会に終えることがで きました。ご協力頂いた方々、特に遠方から ご来訪頂いた銀河学院高校箏曲部の皆さ んにはこの場を借りて感謝申し上げます。

人間文化学科 准教授 重迫 隆司

ブルガリア大使による教養講座



22年度第1回 教養講座を.5月 14日(金)15時 15分~ 16時15 分,大学会館で 開催しました。講 師はリュボミル・ トドロフ駐日ブ ルガリア共和国 大使,演題は「現 代世界における ブルガリア」でし た。学生約400 名の他,教職員 や学外一般の方 の出席がありま

した。

ブルガリアといえばヨーグルト,バラの香水,大相撲の琴欧州関などが思い浮かびます。バラを市花とする福山とは,活発な交流が行われています。バラ祭りで大使が来福される機会に,大学にお立ち寄り頂きました。

開学以来約35年間の教養講座の中で、 外国人講師は2人目,英語による講演とい う珍しい体験となりました。人間文化学部 の田中久男教授に通訳を務めて頂きまし た。

講演では、多くの美しいスライドを使用され、ブルガリアの歴史・文化・産業・観光などが紹介されました。ブルガリア人の好む日本食、ブルガリア人が日本語を学ぶ目

的などについて、学生からの質問がありました。

国旗の準備・掲揚のマナー,外国人要人の警備など,慣れない問題もありましたが,関係教職員の工夫と尽力で無事終了できました。

グローバルな時代を迎え、ますます世界 理解が重要になってきます。本講演は、学生が世界事情に関心を持つきっかけに少しはなったと考えています。また大使より、ブルガリアの大学に留学する福山大学生を歓迎する旨の発言がありましたが、チャレンジする学生が現れて欲しいものです。

教養講座運営部会

部会長 井上 矩之

第10回 福山大学生命工学部公開授業始まる

福山バイオビジネス交流会との共催で始まった福山大学生命工学部公開授業が、今年で10年目を迎え、好調の内にスタートしました。この催しは、備後・井笠地域を中心に企業・一般・高校生の皆様に、バイオテクノロジーの最新技術や生命の不思議や大切さをわかりやすく紹介しようという意図から始まりました。今年は、その原点に戻り「ぼくらはみんな生きている~生物の多様性とくらし~」と題して、授業形式の講演を2題ずつ3回、実験形式の公開実験を1回行います。第1回は、6月5日(土)に備後地域地場



産業振興センターで、海洋生物科学科 阪本憲司講師による「さかなの不思議な 世界」と生物工学科原口博行教授による 「ウイスキーのひみつ」と題した講演を 行いました。阪本講師は、身近なさかな の不思議な生態をわかりやすく説明しま した。原口教授は、ウイスキーの知って いるようで知らないおもしろい知識を披 露しました。

第2回は、6月19日(土)に福山大学社会連携研究推進センターで、生命栄養科学科の菊田安至教授による「ライフサイエンスで食の安全を守る」、岩本博行教授による「なぜ食と科学は相性が悪いのか?」の2講演を行いました。菊田教授は、狂牛病などを例にして、食べ物の危険性をわかりやすく説明しました。岩本教授は、食物学や生物学は、実は数学や物理学と違ってとても曖昧なものを対象にする学問であるということを、おもしろく説明しました。

第3回は,7月3日(土)井笠地域地場

産業振興センターで、海洋生物科学科 渡辺伸一講師による「南極のペンギンの くらし」、生物工学科山本覚教授による 「極限環境に生きる生物のしくみ」の2講 演を行いました。渡辺講師は南極でのペンギンの生態調査の貴重な体験談を、 山本教授は、高温や超低温、乾燥や高水 圧などの過酷な環境で生きる生物のしく みをわかりやすく話しました。

第4回は本学で公開実験を行います。 本年度は一般・高校生向けの他に、小学 生を対象としたキッズメニューも加え、現 在の時点(7月3日)ですでに200名以上 の申し込みをいただいております。

全体を通じて高校生から一般の方まで幅広く参加していただき、また常連の参加者も確実に増えています。私たちはこれからも、内容をより一層充実したものとし、より多くの皆様に参加していただくよう努力していきます。

海洋生物科学科 教授 高村 克美

福山大学薬学部 第1回病院•保険薬局実務実習白衣授与式

平成22年5月8日(土),第1回病院・保 険薬局実務実習白衣授与式が福山大学 大学会館ホールにおいて行われました。 白衣授与式は,病院と薬局で合計5ヶ月 間にわたる長期実務実習を行う5年生に, 医療従事者の一員として患者と向き合う ことの意味をもう一度深く考えた上で実 習に臨んでもらうために開催されました。

白衣授与式は、総長、学長、副学長、薬 学部教員,1~4年生,ならびに家族臨 席のもと,管弦楽団による福山大学の歌 の演奏で始まりました。まず、学生の名前 が所属研究室毎に読み上げられ, 壇上 に整列した5年生一人ひとりに研究室主 宰教員から白衣が手渡されました。5年 生は一旦退場した後,白衣を着用して教 員,学生,家族の暖かい拍手に迎えられ て整然と会場に再入場してきました。左 胸に薬学部のシンボルマークがプリント された真新しい白衣を着用して整列した 5年生に対して、総長、学長、薬学部長か ら全員が1回で共用試験に合格したお祝 いと、「福山大学薬学部の学生であると いう誇りと自信をもって実習に臨んで欲 しい。という励ましの言葉がかけられま した。これに対して5年生代表の学生か らは、「医療人としての自覚と使命感を表 す薬学部のシンボルマークの意味を胸 に刻んで実習を頑張ってきます。」という



教員から白衣を授与される薬学部5年生

誓いの言葉が述べられました。

白衣授与式に出席した5年生からは、 「いよいよ臨床での実習が始まるという 緊張感が出てきました。」、「臨床の場で 薬剤師の職能を精一杯学んできたいと 思います。」という感想が多く聞かれまし た。また、4年生からは、「自分たちも早く 実習に行きたい。そのために今を一生懸 命頑張る! という感想が寄せられ、学生 のモチベーション向上に大きく影響した ことが感じられました。シンボルマーク入 りの白衣を着て5月から実習を行ってい る学生が多くのことを学び,一回り成長 して無事に大学に戻って来ることを期待 すると同時に、この白衣授与式を福山大 学薬学部の伝統行事としていきたいと 思っています。

薬学部 教授 田村 豊



な学部のシンボルマークがプリントされた白衣を 着用した5年生



誓いの言葉を述べる5年生代表



実務実習頑張るぞ!

平成22年度教育懇談会について

教務課

本学では,毎年,教育懇談会を開催してい ます。

この会には,本学の近況や就職状況・学生 生活等についての説明を行う全体説明と,学 生の学修(成績)状況の説明を行う個別懇談 があります。また,就職・学生生活全般につい ての相談や質問にも応じています。

今年度は、右表の日程で開催しますので、 保証人の皆様には、ご出席下さいますようお 願いいたします。

なお,ご出欠については,7月下旬に保証 人の皆様宛に別途郵送にてお送りします返 信用ハガキでお知らせ下さい。

開催日程	開催	地	対象学部	会場名	開催日程	開催	ᆂ地	対象学部	会場名
8月21日(土)	姫	路	全学部	姫路キャッスルホテル	9月4日(土)	福	山	経済(1・3年次),	
8月21日(土)	名古	屋	全学部	名古屋ガーデンパレス				I,	
8月22日(日)	広	島	全学部	広島ガーデンパレス				薬(学生番号(偶数))	
8月22日(日)	松	山	全学部	松山東映ホテル	9月5日(日)	福	山	経済(2・4年次),	福山大学
8月26日(木)	松	江	全学部	松江東急イン				人間,	
8月28日(土)	福	岡	全学部	福岡ガーデンパレス				生命工,	
8月28日(土)	高	松	全学部	高松東急イン				薬(学生番号(奇数))	
8月29日(日)	鹿児	島	全学部	ブルーウェーブイン鹿児島					
8日29日(日)	田	ılı	全学部	すきび今館					

第5回 高校生CMコンテスト

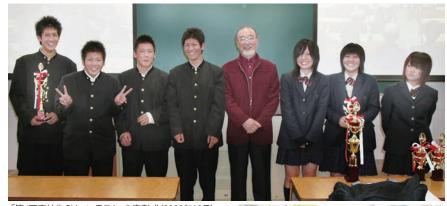
人間文化学部 メディア情報文化学科

メディア情報文化学科では、今年度も「高校 生CMコンテスト」を開催します。今年のテーマ は、「あなたの『まち』を、全国にアピールしよ う!」です。地元の魅力で人を惹きつけ、その 「まち」に行きたくなるようなCMを考えてもら います。

ビデオで撮影・編集した作品を応募する「映 像作品の部」は、表現活動の成果を示す好機 となるでしょう。絵コンテに企画をまとめる「企 画コンテの部」や、写真やイラストに短いフレ ーズを添える「広告コピーの部」は、映像制作 の設備を持っていない学校でも、気軽に応募 できる部門です。詳しくはウェブサイトをご覧

http://www.fukuyama-u.ac.jp/ human/media/

お問い合わせは,人間文化学部事務室 1年084-936-2112(内線2223)もしくは, cm2010@fuip.fukuyama-u.ac.jpまで。



「第4回高校生CMコンテスト」の表彰式(2009年10月)

8月31日(火) 大 阪 全学部 大阪ガーデンパレス

8月31日(火) 小 郡 全学部 山口グランドホテル

三蔵祭の期間中には,受賞作品の上映・展 示と表彰を予定しておりますので,どうぞご期 待ください。

メディア情報文化学科 講師 杉本 達應



第3回「友だちにすすめたい本」コンクール

人間文化学部 人間文化学科

人間文化学科では,今年度も3回目となる 「友だちにすすめたい本」コンクールを開催し ます。自分が読んだ本の素晴らしさやその時 の新鮮な感動を、たくさんの人々に知っても らいたい高校生なら、誰でも応募資格があり ます。是非すてきな作品をお寄せ下さい。

ちなみに、第1回・第2回のコンクールでは、 いずれも1000篇以上の作品をお寄せ頂きま した。この場を借りて感謝の意を表するととも に,引き続き今年度のコンクールが盛況とな ることを祈念しています。

人間文化学科 准教授 引野 亨輔

本の対象:小説,エッセー,童話,詩など,ジャンルを問いません。 応募資格 高校生

所定の用紙に500字以内 応募方法

松田文子(本学学長,審査員長), 審查員

磯貝英夫(広島大学名誉教授),他,本学教員

個人賞 最優秀賞 賞状・副賞(図書カード1万円分) 彰, 優秀賞 賞状・副賞(図書カード5千円分) 賞状・副賞(図書カード1千円分) 佳作賞

学校別審査員賞 各校5篇 賞状 団体賞 学校賞2校 賞状・トロフィー

入賞作品および応募作品の一部は, 冊子として印刷し出版します。

〒729-0292 福山市学園町1番地三蔵 応募先 福山大学 人間文化学部 人間文化学科 「友だちにすすめたい本」コンクール係

> 詳しくはウェブサイトをご覧下さい。 http://www.fuhc.fukuyama-u.ac.jp/human/hc

お問い合せは 人間文化学部事務室 ☎084-936-2111 (内線2222) もしくは、khikino@fuhc.fukuyama-u.ac.jpまで



学友会短信

【サッカー部】

●5月16日~ 23日 2010年度中国大学サ カー選手権兼総理大臣杯全日本大学サッ カートーナメント大会中国地域予選大会 出場

【陸上競技部】

● 5月14日~ 16日 第64回中国四国学生 陸上競技対校選手権大会 男子5,000m•男子10,000m

第3位 村田 総(建築・建設3年) 男子10,000m競歩

第3位 廣藤 耕一(経済1年)

男子3,000mSC

第2位 岡田 泰平(経済3年)

【ボート部】

●5月1日~4日 第63回朝日レガッタ 般男子舵手つきフォア 準決勝出場 北条 正人(海洋4年)

【バドミントン部】 ●5月3日 第19回チャレンジカップ

団体戦 優勝 ●5月9日 第24回福山市会長杯バドミント 一部女子 ン大会

堀田 有梨江(経済2年) 優勝 竹口 真子(経済1年)ペア

【硬式野球部】

●4月3日~5月25日 平成22年度 中国六大学野球春季リーグ戦 出場 ベストナイン受賞

2塁手 久保 尚徳(経済4年) 外野手 稲沢 航平(経済4年)

【ボウリング部】

●4月10日~ 24日 平成22年度中四国学 生春季リーグ戦 チーム戦 優勝

個人戦 優勝 大下 純矢(機械4年) 【柔道部】

●5月21~ 22日 平成22年度 中国四国 学生柔道優勝大会 出場

【剣道部】

- ●5月15 ~ 16日 第57回中四国学生剣道 選手権大会 出場 • 5月29日~ 30日 第55回西日本学生剣
- 道大会 出場

【硬式庭球部】

●6月3日~6日 春季中国四国学生選手権

バレーボール選手権大会 出場

【弓道部】

- 4月24 ~ 25日 第43回中国学生弓道競 技大会 出場
- 5月21日~ 23日 第54回西日本学生弓 道選手権大会 出場

【卓球部】

● 5月27日~ 30日 第61回中国学生卓球 選手権春季大会 出場

【ダンス部】

●5月9日 JFE西日本フェスタ i n ふくやま

【吹奏学部】

- 人間文化学部コンサートにて演奏 ●6月5日 【三蔵太鼓を打つ会】
- ●5月22日 2010府中産業メッセにて演奏 【YRC部】
- ●4月11日·5月9日·6月13日 松永駅周辺 のゴミ拾い
- ●4月25日 福山駅周辺のゴミ拾い

【競技ダンス同好会】

- ●5月29日 第4回 Spring Night Party 開催 【学友会執行部】
- ●4月12日~16日 新入生サークル勧誘 ●5月15日 春季学長杯争奪競技大会
- (ソフトボールの部,ドッチボールの部)



学友会サークル新規承認,昇格について 調理同好会(平成22年1月1日付 承認) YRC部(平成22年1月1日付 YRC同好会か ら昇格)

(学務部 学生課)

際交流瓦版

○人間文化学部心理学科青野篤子教授の研究室に James Edwards King氏(英国)が(独)日本学術振 興会外国人特別研究員として着任。

(10月29日~12月27日)

- ○大連外国語学院大学国際芸術学院芸術団による中 国民族音楽・舞踏観賞会が本学社会連携研究推進 センターで開演。 (11月26日)
- ◎2009年度広島地域留学生会総会及び国際親善ス ポーツ大会が広島文化学園大学で開催され,広島 県下の大学から留学生が参集。本学からは留学生 49名が最多出場し、ソフトバレー、バスケットボー ル,フットボール等,大学間での活発なスポーツ交 流が行なわれた。引率は田中聡准教授。

(11月28日)

- ◎本学と天津科技大学(中国,天津市)との学術教育 学術交流協定に基づき、「福山大学と天津科技大学 との間の学生交流に関する協定実施細則」が締結。 (11月30日)
- ◎福山市立東村小学校において, Vo Tan Ducさん(機 械システムエ 1年 ベトナム)が小学校6年生の 児童を対象にゲスト・ティーチャーを務め,3回にわ たってベトナムの風土,文化,伝統行事,食文化等 について交流。
- (2009年12月1日~2010年2月16日) ◎(独)日本学生支援機構の留学生交流支援制度(短 期派遣)による奨学措置を得て,本田智子さん(心 理 3年)がカリフォルニア大学リバーサイド校へ 短期留学(2010年1月~3月)。本学からも留学支 援のため奨学金を給付。 (2010年1月7日)
- ◎福山市立本郷小学校において,中国から編入学し た児童に日本語指導を行うため、黄小玲さん(国際 経済 4年 中国)ほか4名が交替で講師。

(1月13日~3月16日)

- ◎広島県日中親善協会主催,中国・四川省留学キー パーソン受入事業のため,四川大学高叡氏,電子 科技大学 呂泰氏,四川外語学院成都学院 張華春 氏が本学を視察。大学間の学術教育交流について 協議。 (1月19日)
- ◎2010年度ロータリー米山記念奨学生として楊伊さ ん(人間文化 3年 中国)が採用決定。

(2月1日) ◎アジア人財資金構想プロジェクトのよる留学生就職 準備研修講座が本学社会連携研究推進センターに おいて4回開講。本学から20名の留学生が参加。

(2月6日~27日)

- ◎平成22年度国内採用による国費外国人留学生(学 部留学生)に張提舒可さん(メディア情報文化 3年 中国)と于博泓さん(情報工 3年 中国)2名が採 用決定。
- ◎留学生総会において,平成22年度留学生会新役員 の選出があり,新会長には孫麗娜さん(国際経済 1年 中国)を信任。 (2月9日)
- ◎日中友好広島県議会議員連盟交流会において中国 との経済・友好交流促進のため、斉超蘭さんら(人間 文化 3年中国)3名が出席し、スピーチ

(2月26日)

◎福山市立駅家小学校において, 朴聖雨さん(国際経 済 2年 韓国), Muthoni Eric Muneneさん(国際経 済 2年 ケニア),張迪さん(心理 2年 中国)が6 年生に自国の生活様式、文化について講義。

(3月1日)

◎広島県日中親善協会による中国からの留学生の送 別会・激励会に本学から島敏夫国際センター留学 生部副部長と共に15名の留学生が出席。

- ◎留学生を支援する会主催の留学生による日本語ス ピーチコンテストが開催され、本学から出場した趙 文斌さん(国際経済 3年 中国)が「貴州の雨」で 優秀賞授賞。 (3月7日)
- ◎中国新聞に本学を取り巻く3記事を投稿掲載し、学 生レポーターとして活躍した喩増勝さん(国際経済



4年 中国),中国新聞社から「キャンパスレポータ 一賞」受賞。執筆を重ね、日本語が上達したと自負。 (3月26日)

◎アメリカ,カリフォルニア大学リバーサイド校及び中 国, 対外経済貿易大学, 首都師範大学との学術教育 交流協定の更改により、締結期間延長。

- ◎中国の協定校から、中国では学べない日本の文化 や学問の理解を深めたいと交換留学生9名が前期 入学。対外経済貿易大学から李夢璽さんら7名は経 済学部で受入。天津科技大学から初の交換留学生, 李偉さんら2名は人間文化学部で受入。 (4月1日)
- ◎学部生18名,大学院生1名の留学生が入学。さらに、 協定校より、3年次編入の留学生19名が仲間入り。 平成22年度留学生数は、5カ国、185名。(4月7日)
- ◎「留学生支援プログラム:育英奨学金貸与制度につ いて」国際連合大学の山本まり氏が講演。(4月9日)
- ◎(財)熊平奨学文化財団奨学生として,焦鳳蘭さん (国際経済 4年 中国), Muthoni Eric Muneneさん (国際経済 2年 ケニア)2名の採用が決定。
- ◎(財)八幡記念育英奨学会奨学生として、孫知偉さん (経済学研究科 2年 中国)の採用が決定。

(4月19日)

- ◎留学生会主催の新入生歓迎会を福山ニューキャッ スルホテルで開催。新入生を囲んで、教職員や在学 生が歓迎の祝宴。
- ◎駐日ブルガリア共和国, Dr. Lubomir Todorov特命 全権大使による教養講座「現代世界におけるブル ガリア」を開講。 (5月14日)
- ◎オーストラリア総領事館の松本文仁氏と共に,オー ストラリア,ニューサウスウェールズ大学からJan Bardetta氏,同大学附属語学学校の校長 Marc Weedon-Newstead氏が来学し、松田文子副学長へ 表敬訪問の後,国際センター国際交流部運営委員 と大学間交流について協議。 (5月21日)
- ◎(財)ひろしま国際センター主催のこども国際教室の 一環として, Muthoni Eric Muneneさん(国際経済 2年 ケニア),額日敦布和さん(国際経済 1年 中国), 王柏静さん(経済 交換留学生 中国)が 神石高原町立三和小学校で講師。民族楽器も演奏。 (6月4日)

(学務部 国際交流課)

内 事

【名誉教授称号授与	
二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二	

吉原 龍介 人間文化学部 教授 (以上4月1日付)

【役職関係】

○新任 副学長 冨士 彰夫 経済学部長補佐 敏夫 鳥 国際経済学科主任 島 敏夫 人間文化学科主任 害木 美保 建築•建設学科主任 松本 静夫 附属図書館分館長 吉富 博則 国際センター長社会連携センター 冥十 彰夫 将仁 福長 内海生物資源研究所長 谷口 順彦 構造・材料開発研究センター長 宮内 克之界 キャリア形成支援センター長 西原 広報委員長 田村 曹 広報副委員長 原口 博行 北京教育研究センター長 冨士 彰夫 (以上4月1日付) 松田

文子 史登 副学長 松浦 (以上6月1日付) ◎退任 経済学部長補佐 彰夫 国際経済学科主任 富士

彰夫 人間文化学科主任 丹藤 環境情報学科主任 丹藤 浩. 建築•建設学科主任 大島 秀明 附属図書館薬学部分館長 社会連携センター長 松浦 史登 内海生物資源研究所長 里内 キャリアセンター長 中村 就職委員長 西原 炅 美保 広報委員長 青木 広報副委員長 足立 浩-広報副委員長 田村 (以上4月1日付)

【教員】

○定年退職 工学部教授 河野 俊彦 達雄 工学部助手 八塚 誠一 (以上3月31日付)

退職 副学長 吉原 普介 人間文化学部講師 廣川 空美 工学部教授 工学部准教授 土井 横井 正好 工学部准教授 友幸 薬学部助手 藤田 理恵 薬学部助手 薬学部助手 田口 恭子 吏菜 中谷 薬学部助手 東 (以上3月31日付) 学長

◎仟期滞了 経済学部特任教授 佐野 進策 (3月31日付)

牟田 泰三

(5月31日付)

◎死亡 生命工学部教授 廣井 祐三 (5月22日) 人間文化学部客員教授 奥村 昭和 (6月17日)

◎昇任 経済学部教授 平田 #: 経済学部教授 敏夫 人間文化学部講師 樋町 美華 生命工学部教授 生命工学部准教授 高村 克美 広岡 和丈 薬学部教授 田村 豊 薬学部准教授 丰 (以上4月1日付)

◎配置換 大学教育センター教授 松浦 史登 (生命工学部教授) 大学教育センター准教授 地主 弘幸 (人間文化学部准教授)

(以上4月1日付) 国際センター教授 川地 国際センター授授 国際センター准教授 俊彦 堤 足立 浩-国際センター講師 水上 僡 国際センター講師 小林 正明 (以上4月1日付)

○免併任 西尾 国際センター教授 正富 国際センター教授 松本 静夫 国際センター教授 国際センター准教授 岡 晃弘 鳥 敏夫 国際センター准教授 重泊 降司 (以上4月1日付)

◎採用 経済学部教授 桑原 哲也 経済学部講師 久松 太郎 古市雄一朗 経済学部講師 人間文化学部教授 西田 正 人間文化学部教授 堤 俊彦 日下部典子 人間文化学部講師 杉本 達應大西 正俊 人間文化学部講師 薬学部助手 上敷領 淳 薬学部助手 早織 薬学部助手 有本 薬学部助手 井上 真一 大学教育センター講師

Janice R.Brabec 大学教育センター 講師

John A.Kearley, Jr 大学教育センター -講師 Jeffrey J.Nazzaro

(以上4月1日付) ◎特任教授 人間文化学部 篠田 昭夫 人間文化学部 三浦 省五 尾島 工学部 勝

(以上4月1日付) ○特仟准教授 潜上 恭平 生命工学部 (4月1日付)

◎客員教授

吉原 龍介 経済学部 経済学部 田中 秀征 経済学部 妹尾 正毅 大久保 経済学部 動 経済学部 佐野 進策 経済学部 戸田 博う 人間文化学部 函村 昭和 人間文化学部 位藤 邦生 人間文化学部 藤森 益弘 人間文化学部 宮地 克昌 工学部 横井 工学部 高橋 智隆 生命工学部 宮崎 信之 信行 薬学部 村上 大学教育センター 橋本 裕之 構造・材料開発研究センター 達雄 井上 (以上4月1日付)

◎客員教員(教授待遇) 曹 保 経済学部 (4月1日付)

◎北京教育研究センター 顧問 佐藤 利行 (4月1日付)

【職員】 ◎定年退職

総務部長 栗栖 良光 (3月31日付)

嚻 入試広報室参事 川﨑 雅俊 学生課車庫長 平岡 (以上3月31日付)

◎昇任 学生課車庫長 平岡 (1月1日付) 事務局次長(経理·施設担当) 羽原 哲也 経済学部·人間文化学部事務室事務長補佐 村上 高十:

施設課施設係長 教務課教務係長 奥村 健一 入試広報室入試広報主任 小林圭二郎 宣昭 楠見 就職課就職主任 (以上4月1日付)

附属図書館分館事務職員 明石麻由子 (附属図書館薬学部分館) (4月1日付)

◎兼務 学校法人福山大学総務部財務担当 哲也 羽原 学校法人福山大学総務部施設担当

学校法人福山大学入試広報室 小林圭二郎 入試広報主任 経理部長事務取扱 羽原 哲也 用度課長事務取扱 羽原 哲也 施設課長事務取扱 羽原 哲也 生命工学部附属内海生物資源研究所 事務係長 岡 茁雄

矢野 幸

(以上4月1日付)

○免兼務

生命工学部附属内海生物資源研究所 事務主任 (4月1日付)

学校法人福山大学参与 大谷 巖 (兼)福山大学参与 学校法人福山大学参与 石田 宵 (兼)福山大学参与 学校法人福山大学総長特任補佐

大久保 秘書主管(事務嘱託員)森迫 哲 (兼)学校法人福山大学秘書主管 総務部長(事務嘱託員)栗栖 良 哲子 良光 (以上4月1日付)

学校法人福山大学参与 邉見 芳夫 (兼)福山大学参与

(5月27日付)

計報

奥村昭和客員教授のご逝去を悼む

福山大学•福山平成大学名誉教 授の奥村昭和先生(満81歳)には本 年6月17日逝去されました。先生は 兵庫県にお生まれになり, 旧制松江 高等学校,早稲田大学第一文学部 卒業後,神戸新聞社に入社,編集委 員を務められた。昭和52年10月草 創期の福山大学教養部講師として 社会学を担当され、昭和60年4月教 授になられた。平成6年4月からは福 山平成大学の創設メンバーとして社 四平成人学の副設メンバーとして社会学・経営社会学を担当されるかたわら,福山大学一般教育部教授も兼 任された。先生は12年の長きにわた り両大学の広報委員長として活躍さ れたが、平成10年4月、福山平成大 学学長補佐に就任された。平成14 年福山平成大学を定年退職後も客員教授として両大学の教育に協力 を惜しまれなかった。これらの功績 に対し、平成18年4月両大学の名誉 教授に推戴された。先生のご冥福を 心よりお祈りいたします

廣井祐三教授のご逝去を悼む

昨年11月に体調を崩され治療さ れていましたが、5月22日にご逝去 されました。徳島大学博士課程を修 了された後,管理栄養士課程で教育 ・研究に携わられました。本学の生 命栄養科学科の設立の際、この経験 のおかげで厚労省の認可を得るこ とができました。国試対策の責任者 として今後の活躍を期待していただ けに,とても残念です。せめて一期生 の卒業を見届けて頂きたかった。ご 冥福をお祈り致します。

2009年度 学校法人福山大学 財務状況



資金収支計算書	(平成21年4月	1日~平成22年3月31日	3) (単位 円)
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	4,881,257,260	人件費支出	3,399,858,656
手数料収入	78,654,210	教育研究経費支出	1,552,797,426
寄付金収入	27,284,000	管理経費支出	322,592,071
補助金収入	833,761,157	借入金等利息支出	33,739,654
資産運用収入	125,119,709	借入金等返済支出	134,700,000
事業収入	54,259,614	施設関係支出	1,142,523,550
雑収入	138,279,571	設備関係支出	857,408,850
前受金収入	2,243,152,750	資産運用支出	1,050,294,720
その他の収入	3,875,236,667	その他の支出	1,954,654,388
資金収入調整勘定	△ 2,390,816,395	資金支出調整勘定	△ 531,554,216
前年度繰越支払資金	5,129,572,419	次年度繰越支払資金	5,078,745,863
収入の部合計	14,995,760,962	支出の部合計	14,995,760,962

消費収支計算書 (平成21年4月 収入の部 学生生徒等納付金 4,881,257,260

手数料	78,654,210
寄付金	34,980,045
補助金	833,761,157
資産運用収入	124,744,391
事業収入	54,259,614
雑収入	138,279,571
帰属収入合計	6,145,936,248
基本金組入額合計	△ 288,306,273
消費収入の部合計	5,857,629,975

1	日~平成22年3月31日	B) (単位 円))
	支出の部		_
	科目	金額	
)	人件費支出	3,446,602,79	9 0
)	教育研究経費支出	2,861,163,74	41
	管理経費支出	449,431,47	77
	借入金等利息支出	33,739,65	54
	資産処分差額他	70,96	59
			_
			_
	支出の部合計	6,791,008,63	31
	当年度消費収支差額	△ 933,378,65	56

貸借対照表(平	成22年3月31日)		(単位 円)
資産の部		負債の部,基本金の部及び	び消費収支差額の部
科目	金額	科目	金額
固定資産	63,678,275,535	負債の部	
有形固定資産	31,667,791,581	固定負債	2,955,788,407
うち土地	6,885,223,494	うち長期借入金	1,264,790,000
うち建物	15,886,683,133	うち退職引当金	1,576,563,485
うち構築物	1,122,821,793	うち長期未払金	114,434,922
うち教育研究機器備品	3,457,573,543	流動負債	2,852,801,868
うちその他の機器備品	21,833,106	うち短期借入金	159,730,000
うち図書	4,277,038,879	うち未払金	372,478,484
うち車両他	16,617,633	うち前受金	2,243,152,750
		うち預り金	77,440,634
その他の固定資産	32,010,483,954	負債の部合計	5,808,590,275
うち退職金引当資産	1,510,016,830	基本金の部	48,467,031,699
うち減価償却引当資産	15,412,685,173	第1号基本金	48,060,031,699
うち校舎建設等引当資産	8,673,090,608	第4号基本金	407,000,000
うち創設準備引当資産	6,377,753,497	基本金の部合計	48,467,031,699
流動資産	5,445,511,891	消費収支差額の部	14,848,165,452
うち現預金	5,078,745,863	翌年度繰越収入超過額	14,848,165,452
Mark - 40 A - 1		負債の部,基本金の部及び	60 122 707 426
資産の部合計	69,123,787,426	消費収支差額の部合計	69,123,787,426

平成23年度 入学試験の概要

平成23年度入学試験の日程については次のとおりです。全入学試験において同窓生・在学生入学金減免制度を実施しています。同窓生・在学生入学金減免制度とは、福山大学の同窓生の子弟及び在学生の兄弟に対して、就学時の経済的支援のため、入学金を減免する制度です。同窓生の子弟及び在学生の兄弟とは、入学者の親、兄弟、姉妹のいずれかが福山大学の卒業生又は在学生(留学生は除く)です。この他、指定校入学試験を実施しています。

なお,入学試験の詳細については入試広報室までお問い合わせ下さい。

◆入試日程

入試種別	出願期間	試験日	合格発表日
A O 入学試験(第1期)	(エントリーシート提出期間) 平成22年8月2日(月) ~8月9日(月)	平成22年9月3日(金)	平成22年9月6日(月)
A O 入 学 試 験 (第 2 期)	(エントリーシート提出期間) 平成22年8月31日(火) ~9月8日(水)	平成22年10月9日(土)	平成22年10月14日(木)
推薦入学試験(A日程) (試験日自由選択制)	平成22年10月14日(木) ~11月1日(月)(消响物)	平成22年11月6日(土) 平成22年11月7日(日)	平成22年11月11日(木)
推薦入学試験(B日程)	平成22年11月24日(水) ~12月7日(火)(消响菊)	平成22年12月11日(土)	平成22年12月15日(水)
前期入学試験(A日程) (試験日自由選択制)	平成23年1月5日(水) ~1月26日(水) (消師前)	平成23年1月31日(月) 平成23年2月1日(火) 平成23年2月2日(水) 平成23年2月3日(木)	平成23年2月8日(火)
前期入学試験(B日程)	平成23年2月4日(金) ~2月14日(月)(消印有効)	平成23年2月18日(金)	平成23年2月22日(火)
後期入学試験	平成23年2月19日(土) ~3月8日(火)(消印有効)	平成23年3月12日(土)	平成23年3月16日(水)
センター試験利用入学試験 (前期日程)	平成23年1月5日(水) ~1月26日(水)(消印有効)	個別学力試験は課さない	平成23年2月15日(火)
センター試験利用入学試験 (後期日程)	平成23年2月19日(土) ~3月8日(火)(必着)	個別学力試験は課さない	平成23年3月16日(水)

※試験日自由選択制とは、上記試験日の中から、試験日を志願者が自由に選択できる制度です。 志願者は、同一学部・学科を複数回志願することや、異なる学科を1日ずつ志願することもできます。

◆試験地 ○AO入試(第1期·第2期)【福山(福山大学)】

○推薦入試(A日程)【11/6·11/7福山(福山大学)·広島·福岡·岡山】

【11/6 周南·鳥取·高知·徳島·大阪】【11/7 松江·松山·高松·神戸】

○推薦入試(B日程) 【福山(福山大学)·広島·山口·松江·松山·高松·福岡·岡山·大阪】

○前期入試(A日程)【1/31~2/3福山(福山大学)·広島·山口·福岡·岡山·松山】

【1/31 鳥取•京都】【2/1 米子】【2/2 静岡】

【2/3 神戸·名古屋】【1/31·2/1 高松·大分·佐賀·東京】 【2/2·2/3 松江·高知·鹿児島·熊本】【2/1·2/2 大阪】

○前期入試(B日程)【福山(福山大学)·広島·岡山】

○後期入試 【福山(福山大学)・広島・福岡・岡山・大阪】

編集後記 今号は、松田文子新学長の挨拶を巻頭に掲載しました。 さまざまな変革が求められるこの時代、福山大学を率いていく松田学長の考え方や人となりを、一端ですが紹介できたと思います。その他、医療薬学教育センター(34号館)で展開される新しい薬学教育、新入生合宿オリエンテーションの感想、就職支援の取り組みなど、本学の生き生きとした活動が伺える紙面となりました。 発 行福山大学

編 集福山大学広報委員会 〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵 TEL (084) 936-2111 FAX (084) 936-2213

http://www.fukuyama-u.ac.jp